

第2展示室

渡辺由紀子展

2025
7.9 WED
▽
8.3 SUN

シリーズ **kehai**
—もうひとつの宇宙—

岐阜市歴史博物館分館
加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内) TEL・FAX 058(264)6410

開館時間: 午前9時—午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

休館日: 月曜日【7月21日固は開館】7月22日凶

観覧料: 高校生以上 310円(団体 250円)、小中学生 150円(団体 90円)
※()内は20人以上の団体料金

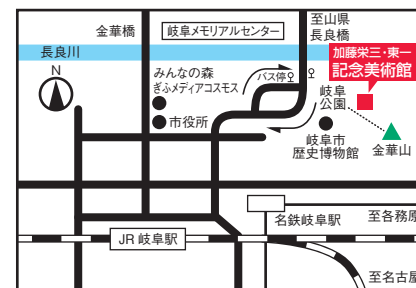
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証又は登録者証、
小児慢性特定疾病医療受給者証又は登録者証の交付を受けている方とその介護者1名様は無料(証明できるものをご提示ください)
※岐阜市内在住の70歳以上の方は、証明書などを提示すると無料 ミライDID可
※岐阜市内の小中学生の方は無料
※家庭の日【7月20日(日)】に入館する中学生以下と、同伴する家族(高校生以上)の方は無料

渡辺由紀子展

シリーズ kehai
—もうひとつの宇宙—

第1展示室

加藤栄三・東一
岐阜を描く
令和7年 7月9日(木)～9月28日(日)



岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館

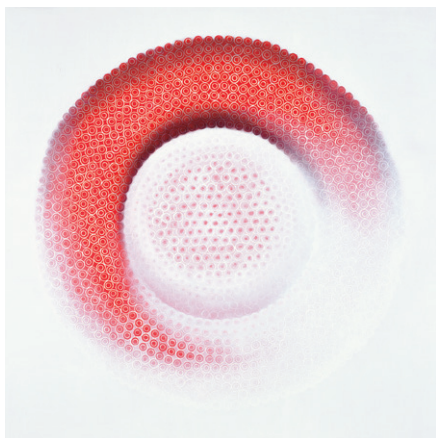
〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内) TEL・FAX 058(264)6410

交通案内
JR岐阜駅・名鉄岐阜駅前から、長良橋方面行きのバスにご乗車ください。「岐阜公園・岐阜城」で下車(所要時間約18分)徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェイ・山麓駅横)

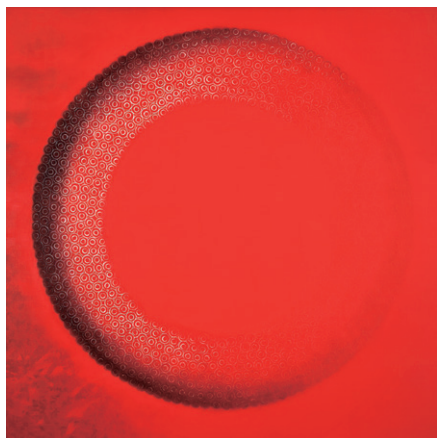
駐車場
岐阜公園北側の堤外駐車場(有料)をご利用ください。駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



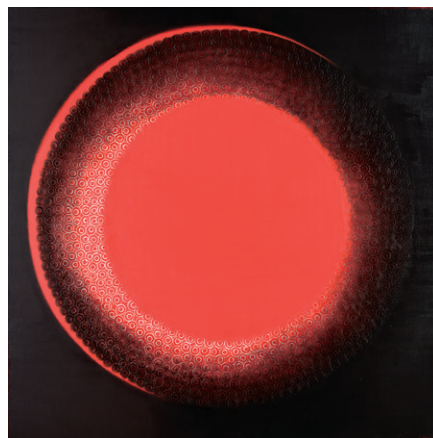
ホームページ



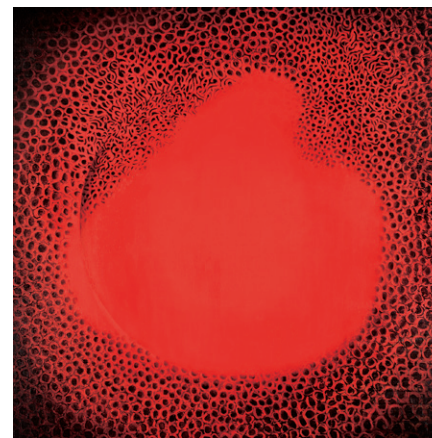
Kehai-核



Kehai-環- R01



Kehai-環-



Kehai-DARUMA- 流動

渡辺由紀子 個展によせて

正方形のキャンパスに正円が赤と白による強固な構図が渡辺由紀子の作品だ。最近空間の白が多いが数年前までは、黒や赤が多かったように記憶している。この変容は会場では渡辺の作風が大転換したと強い印象を受けたのだが、作品の前に立ってしばらくすると制作姿勢はさほど変わっていないことがわかる。例えば悪いのだがコロナ禍にコロナウイルスの顕微鏡写真が発表されるとなぜか私はふと渡辺の作品を思い出していた。そこにははっきりしないある種の不安感を伴う顕微鏡下の細胞の生命体を覚えるからだ。渡辺の作品にはどこか細胞分裂や原始生命体の生成のような目には見えない生命体の気配を感じるからだ。たぶん渡辺の作品は生命の元の基のような、あるいは宇宙の生成のような、渡辺の作品タイトルでいえば、目には見えないが確実に存在する「Kehai」の表象である。

それは決してコロナのイメージに付きまとう「悪」ではなく、この世の現実的な善悪や、快不快と言った領域を突き抜けた透明な新たな生命力の「気配」感である。渡辺がどんなに赤や黒や白といった目に見える色彩を使おうと、渡辺の求める「気配Kehai」は変わらないのだろう。

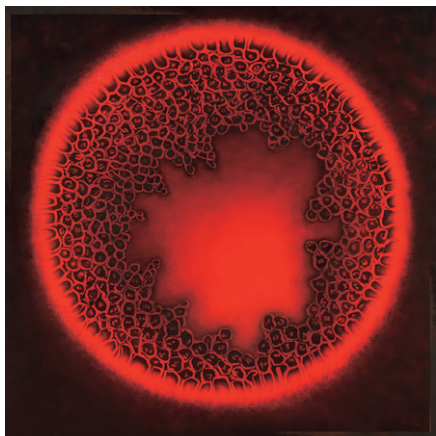
こういった制作姿勢がいつ頃から現れ始めたのかは、渡辺から聞く話や、作品の流れを辿ってもわかるはずもない。これまでの岐阜、東京、パリなどでの個展やグループ展、また岐阜を離れて長い東京の様々な生活体験や仕事上での会うべき人たちや、また予期せぬ人との出会いによる感性の練達があったからにちがいない。

私は渡辺の作品に魅力を感じるのには単純な構図と限られた色彩から不思議な太陽の黒点が爆発するようなエネルギーを受けるからである。円形の輪郭境界線は常に震えていて正円になることを拒否するかのようにグラデーションで弱まったり、消失さえる。仏教や禅においては円相は無限や永遠を意味するようだが、渡辺はその領域を求めながらも、完全な円相にあえて未完の「円」によって展開しているのではない。

今回の個展は、永遠なるものとまだ観ていない世界に向かう渡辺の絶え間なく生きてきた「しるし」の作品群である。作者渡辺由紀子とその作品に出会う者みんなと共にその足跡と感性を味わえる場になれば幸いである。

古川秀昭

前・岐阜県美術館長 OKBギャラリーおおがき館長



Kehai-DARUMA-



第59回女流画家協会展

渡辺由紀子 略歴

1944年	岐阜市に生まれる	
1967年	独立美術協会 会員 澤村美佐子氏に師事	
1968年～現在	女流画家協会 出品	(東京都美術館)
	(船岡賞・日航賞・甲斐賞・F夫人賞 受賞)	
1971年	女流画家協会 会員推挙	
1989年	女流画家協会 委員推挙	
1974年～1999年	独立美術協会 出品	(東京都美術館)
1978年～1989年	草展 望月画廊	(東京・銀座)
1996年～2004年	練馬美術家協会 出品	(練馬区立美術館)
1998年～2022年	CAF展・CAF,N展 出品	(埼玉県立近代美術館)
2005年～2011年	ART WAVE展・ケバントハウスの仲間展 (滋賀県立美術館・他)	
2005年	郡上に吹く風展(明日の形象・17の草莽)	(岐阜県・郡上市)
2009年～現在	ACT展	(岐阜県美術館)
2015年～現在	草莽の風展	(K'sギャラリー東京・銀座)
2021年	良翠会展	(加藤栄三・東一記念美術館)
	その他グループ展多数	

個展

1980年	望月画廊	(東京・銀座)
1984年	ぎやらりー センターポイント	(東京・銀座)
1986年	ぎやらりー センターポイント	(東京・銀座)
1994年	ギャラリー フローレンス21	(岐阜市)
1995年	ギャラリー モテキ	(東京・銀座)
1997年	ギャラリー 神宮苑	(東京・表参道)
1997年	ギャラリー モテキ	(東京・銀座)
1999年	Galerie Satellite	(FRANCE・Paris)
2000年	小野画廊	(東京・銀座)
2001年	ギャラリー いがらし	(東京・池袋)
2002年	Galerie Satellite	(FRANCE・Paris)
2003年	ギャラリー GK	(東京・銀座)
2005年	Galerie Satellite	(FRANCE・Paris)
2006年	ギャラリー アリア	(岐阜市)
2008年	ギャラリー モテキ	(岐阜市)
2010年	ギャラリー パウゼ	(岐阜市)
2015年	Galerie Satellite	(FRANCE・Paris)
2019年	ギャラリー いまじん	(岐阜市)
現在	女流画家協会委員 日本美術家連盟会員	